

# 社会福祉法人 京都光彩の会 光彩だより 令和7年8月号

## 今月のもくじ

### 地域交流

### 西山高原工作所～かれん工房と統合してからの歩み～

### 寄付のお礼

### 後援会のお礼



## 「支援の目的と指標」

私たちの支援の質を測るために、支援の目的を考えてみたいと思います。それは自己統制力やコミュニケーション能力を訓練して労働効率だけを上げることではありません。就労は支援の目的ではなく結果です。また、利用者をパートナリズム（温情的保護関係）に包んで《自ら考え行動する力》を奪い、「まつり」過ごしてもらうことでもありません。ボストン大学の精神科リハビリセンター長だったウイリアム・アンソニーは、精神疾患からの恢復の目標を、(1)人生への「新しい意味と目的」の発見と発揮、(2)生命世界に貢献している実感とその実践、にあると指摘しました。そのような支援を行うためには、私たち支援に携わる者が、共感や自己実現の意味を日々新たに問い、世界に返答し、いのちの繋がりが活かされ合うよう働きかける必要があります。

そして私たちのサービスの利用者が、一年前と比べて、(1)生活目標、人生設計、実現可能な夢をもてるようになつたか、(2)自分の素敵なところを表現でききるようになつたか、ただし、他者と比較できない《オンラインの素敵さ》に関して、です、(3)なにか(誰か)をケアし、なにか(誰か)からケアされる関係が増えたか、(4)しゃべり場、オープン対話の場が増えたか、(5)自然に触れる機会が増えたか、(6)葛藤苦悩し、哀しみ、祈る時間、心を遊ばせる時間をしつかり体験できたか、について問い合わせ、これらを利使用者と共に評価してみたいものです。同時にそれは支援者自身の変化成長とシンクロします。支援と他の人間観がほどかれ、毀れ、再生し育つコミュニケーションの場所と言えるでしょう。

社会福祉法人 京都光彩の会  
理事長 加藤 博史

## 地域交流



パンフレットは  
こちらからご覧  
いただけます

## 朱雀工房×京都市立芸術大学

朱雀工房のパンフレットが新しくなりました。

2025年3月吉日、京都市朱雀工房の新しいパンフレットが完成し、4月4日に印刷されたパンフレットが届きました。2024年1月に京都市の新施設「COCO・てらす」に移転したのを機に、京都市立芸術大学に協力を依頼し、ビジュアルデザイン専攻4回生(2024年度)の平澤綾さんが作成してくださいました。柔らかいフォント、温かいイラストと色調、とても素敵なパンフレットができあがりました。最後の校了まで丁寧にご支援頂いた同大教授舟越一郎様、共創テラス・連携推進課係長小川拓晃様はじめ関係者の皆様に改めて御礼申し上げます。

# 西山高原工作所 ～かれん工房と統合してからの歩み～

二〇二四年十月、西山高原工作所は新たなスタートを切りました。統合という大きな節目を迎える中で、「愛される事業所」をスローガンに利用者さんも職員も期待とともに不安や戸惑いを抱えながらの出発となりました。そんな中で職員が大切にしてきたのは「安心して過ごせる場所」であること。そして「ここに来るのが楽しみ」と思えるような事業所を一緒に育てていくことです。不慣れな環境の中で緊張していた利用者さん同士が、少しでも自然に打ち解けられるように。職員は日々の支援の中で小さな会話のきっかけや共通点を見つけ、やさしく橋渡しをしてきました。声をかけ合う姿が少しずつ増え、笑顔で作業に取り組む様子も見られるようになってきた今、その歩みが確かなものになってきたと感じています。「愛されるような素敵な事業所」を目指して、私たちはまだまだ歩みの途中です。今、利用者さんがどのように感じ、どんなふうに過ごしているのかを率直に語つていただきました。統合を経て今感じていることや変わったこと、一人ひとりの言葉の中に「愛される事業所」の形が見えてくるはずです。

**Sさん**

去年十月からスタートする前に新しい職員さんが、ちょこちょこ西山に来られたので不安はあまり無かったです。新しい利用者の方も増えたので色々な人と喋る機会が増えるようになったかなと思います。あまり自分からたくさん喋るほうではないですが、かれん工房から来られた方々が喋りかけてくれました。世代が違う方と話す機会がてきて共感するような話もありましたし、様々な人と関わるキッカケになったので良かつたと思います。樂しかったことは今年行ったお花見です。統合して新しい方も含めた初めてのお出かけでした。普段、作業している西山とは違った雰囲気で外で会話をしながら同じお弁当を吃るのは新鮮でした。今後の目標は体力を付けて一般就労を目指していきたいですね。どういう仕事が合うのかまだ分からぬるので、どんな作業でも丁寧に誠実にやろうと心がけてやっていきます。私にとってここはスキルを身に付けて成長につなげたり、人と話して相談できるような場所です。

**Fさん**

第一印象が最も記憶に残っています。初めて食事交流会をした時に自己紹介は緊張しましたけど、中には西山の人で話しかけて下さる方もいて緊張が和らぎました。今では休憩時間に自分のことを話したりできているし、みんなで行つたお花見は楽しかったです。同じ空間で、みんなで食べたお弁当は美味しかったです。作業に関してはアマゾンの納品書のチェック、封入作業など難しい仕事も自分のベースで取り組むことができています。印刷の仕事などできない仕事もありますが、西山でやっている請負作業は、様々な仕事に取り組むようにしています。好きな作業は特にありませんが、集中できている方だと思います。今は本来の自分でいられて程々に気を遣わないようになしながら、初めて作業をした時の緊張感も忘れない場所にしたいと思います。





Iさん

統合して最初の時は顔も名前も覚えられなかつたです、人が増えたので状況に慣れるのは大変でした。しかし時間が経つにつれて顔と名前が一致するようになつてきました。

統合前は女性利用者は二名だけしかいなかつたし、席が離れていて女性の方と話す機会が少なかつたですが、統合してから作業場に女性が増えたのでたわいもない話や仕事を教えてもらつたりして距離が縮まつたように思います。女性のクッショングがあることによつて男性の方とも話すキッカケになりました。作業場に居られる元かれん工房のスタッフの方が気さくな方なので場が和むし私自身も凄く話しゃべくなりました。色々、共感するようなお話をも出来て楽しくやっています。印象に残つているのは今年の三月に五、六人で観に行つたオーケストラのレクリエーションです。行く前はそんなに興味はなかつたですが、その場の臨場感や音の迫力に圧倒されて楽しかつたです。以前、通つていたディケアも主治医から卒業と言つていただいて今では西山は私の居場所になっています。「」は自分と社会をつなぐ大切な場です。「」からはスタッフの方ともつと気軽に相談出来るような事業所になつてくれたら嬉しいですね。



Dさん



最初に来たときは、かれんと比べて通勤時間が長くなつてしまふかったです。まだ誰も知らない人ばかりで慣れなかつたというのもありました。今では通勤も慣れてきました。

大変なこともあるけど西山で分かり合える人ができて楽しいです。まだ話していないメンバーの方ともお話できたらいいなと思っています。西山の方に教わることが多いです、私もしつかりしないといけないと思ってるのでしつかり通勤しようと心掛けています。毎日学ぶことがたくさんありますね。良かつたことは桜をみんなで観に行つたことです。やつぱり桜も



きれいだつたし、お話ししながらお弁当を食べたのが思い出です。これからは「かれん」ではなくて「西山」のメンバーとして新たに頑張つていきたいです。私にとって西山はメンバーさんもスタッフも優しいし、見習う」とがたくさんあるので無くてはならない場所です。

西山高原工作所

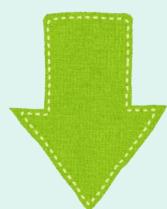
# 水回りがリニューアル！



丸紅基金社会福祉助成金からご支援頂き、西山高原工作所の水回りの改修工事を行いました。老朽化していた設備が新しくなり、利用者さんも安心して使える快適な空間になりました。使いやすく快適になり、「きれいでうれしい」「使いやすくなった」と好評です。ご支援下さった丸紅基金様に心より御礼申し上げます。



ホームページでは、  
西山高原工作所について  
もっと詳しく掲載しています。  
ぜひご覧ください！



## 新しくなりました！



簡易キッチン

お手洗い

洗面所

# ご寄付のお礼

グループホーム  
賀陽・山内・光



この度、京都府共同募金会を通じて、「MKチャリティカップ」よりグループホームの手すり設置工事や洗濯乾燥機などへの助成をいただき、6月20日にグループホーム賀陽にて贈呈式を行いました。贈呈式にはMKホールディングス株式会社 常務取締役の松川様をはじめ、プロボウラーの方も来訪され、実際に設置された手すり等を見ていただきました。現場には入居者の方もおられ、グループホームでの生活や今後したいことなどを話され、短い時間ではありましたが、交流の機会を持つことが出来ました。



乾燥機があれば、  
雨の日も安心です♪  
ありがとうございます！

## 京都光彩の会

あすなろ福祉財団様より助成金を賜り、業務用パソコンを5台購入いたしました。心より感謝申し上げます。新しいパソコンの導入により、日々の事務業務が格段にスムースになり、業務負担が軽減されました。限られた時間の中で、より丁寧に、確実に業務を進めるための大きな助けとなっています。また、基盤設備を整えることにより、利用者の皆様への支援の質の向上にもつながっていくと感じています。



あらためて、あすなろ福祉財団様のご支援に深く感謝申し上げます。

今後も一人一人に寄り添い、よりよい支援を続けていけるよう努めてまいります。



## 後援会のお礼

こちらのQRコードを読み込むと、詳細がご覧いただけます。



京都光彩の会では、『精神障がいのある人たちが、ふつうの市民として、地域で暮らし、働き、社会に参加していくことを支援する』ことを目的に、各事業の運営や計画実施を行っていきたいと思います。

趣旨にご賛同いただき、後援会にご加入いただいた皆様、誠にありがとうございます。皆様のお気持ちを受けて職員一同、事業運営に邁進して参りたいと思います。

また今後も新規に法人の活動にご賛同いただき、ご支援いただける方々のご加入も随時承っておりますので、なにとぞご協力のほどよろしくお願ひいたします。



### ○ご加入いただいた皆様○

今井利美 様

河越昌子 様

森本直美 様

井ノ口富三 様

鳥取淳子 様

藤井 様



## 利用者大募集!!

京都市朱雀工房・西山高原工作所では、現在利用者様を募集しています。お気軽にご相談ください。

### ▼京都市朱雀工房

→就労移行支援利用の方

### ▼西山高原工作所

→就労継続支援B型利用の方

### 広報委員会 委員

田中 稔一（支援センター「なごやか」）  
植田 真由（支援センター「なごやか」）  
高橋 恒明（京都市朱雀工房）  
佐々木 瞳（京都市朱雀工房）  
兵井 貴人（西山高原工作所）  
松岡 芽以（グループホーム賀陽・山ノ内・光）

は、頭の方が体よりも温度が低いほうが快適に寝られると聞いて、クーラーの温度は少し高めに、頭は保冷剤を使うなどいろいろお試し中です。皆さまの工夫もぜひ教えてください。  
まだまだ暑い時期が続きますが、皆さんも体調を崩されませんようご自愛ください。

さて、今回も光彩だよりをご覧いただき、ありがとうございました。  
八月号では、かねん工房との統合後、新たなスタートをした西山高原工作所の利用者さんへインタビューをさせて

(植田)

いました。最後になりましたが、助成金やご寄付の支援を賜り誠にありがとうございました。働いたり、生活している環境が新しく快適になることって非常にうれしいものですね。私も新しいパソコンを使用させていただいており、事務所での業務が非常に快適になります。

ありがとうございました。

今年の夏は暑い！と、毎年言っていました。統合後の緊張や、いろいろな気もしますが、今年も四十度となる酷暑で皆様は暑さ対策どうぞされていますか？私は自転車での訪問が多いので帽子とアームカバー、歩くときは日傘とハンディファンを活用しています。他にもよいグッズはないでしょうかと目を光らせている日々です。また、夏の疲れをためないため、快適に寝る方法も摸索中です。就寝時に

いたしました。統合後の緊張や、レクリエーションや日々の雑談を通して

働く仲間としての交流ができるようになりました。西山高原工作所に通つておられる様子をお聞きすることができます。皆さんのお聞きすることができました。皆さんの西山への愛も感じましたね。イントビューに答えてくださった皆様、ありがとうございました。

## 編集後記

利用者と向き合い、寄り添い、共に考え、共に歩む そして誰もが人生の主役に



## 社会福祉法人 京都光彩の会

Social welfare corp KYOTO kosainokai.Inc

〒604-8845 京都市中京区壬生東高田町1番地の20 COCO・てらす 東館4F

TEL : 075-323-3201 FAX : 075-323-3220  
URL : <http://kyoto-kosainokai.jp>



社会福祉法人京都光彩の会 光彩だより  
発行:京都光彩の会 広報委員会  
発行責任者:中條 了  
印刷:西山高原工作所